

在宅医療・介護多職種連携協議会

啓発・広報部会

～報告～

部会の目的

在宅医療・介護に係る市民啓発について検討する。

- 市民啓発推進の検討
- 在宅医療情報紙わがやの発行
- その他，在宅医療に関する啓発関係の検討

内容

第2回部会

参集形式

(令和5年9月20日)

- 報告 在宅医療情報紙「わがや」特別号
地域啓発活動（在宅医療出前講座）
道の駅でのスूप販売について
- 議事 これからの啓発活動の取組みについて
「事業内容の具体化」

報告 | (1)在宅医療情報紙「わがや」特別号について

「わがや」特別号 (R5.9.1発行)



参考：「わがや」の発行概要

- 発行部数：各号18万部（年に2回発行）
- 配布方法：ポスティングによる戸別配布（約13.8万部）
市立小中学校（全校）経由で児童・生徒へ配布
関係機関への配布，公共施設等への配架
- 配布先：戸別配布，市立小中学校，公共施設，
各医療機関・薬局，駅構内ラック等
- その他：バックナンバーは柏市HPで閲覧可



柏市HPはこちらから
(わがや特集ページ)



報告 | (2)地域啓発活動報告 (出前講座実施報告)

令和5年度 申込状況

令和5年10月5日時点

対象	申込件数	実施回数 (多職種講演回数)	参加人数 * 延数
老人会・サロン・ 町会など	6	4 (0)	91
民児協・地区社協・ ふる協	1	1 (0)	38
その他 (市民団体, NPO等)	1	0 (0)	0
合計	8	5 (0)	129

(H30年度実績：計33回／1,280名)
 (R01年度実績：計23回／ 706名)
 (R02年度実績：計 4回／ 53名)
 (R03年度実績：計 9回／ 209名)
 (R04年度実績：計12回／ 230名)

ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の内容を
 含めた講座や

柏市社会福祉協議会発行の

『わたしの望みノート』の啓発講座と
 コラボした講座も行っています!



講座当日の様子



《今後の予定》

(日時)	(対象)	(予定人数)	(会場)
10/29(日)	NPO等	25人	パレット柏
11/17(金)	サロン	20人	花山ふるさとセンター
12/15(金)	老人会	30人	ひばりが丘ふるさと会館

- 令和4年度に在宅医療を考えるきっかけ作りとして開催したスूपレシピコンテストで、最優秀賞に選ばれた作品を再現したスूपを、道の駅しょうなんで提供（数量限定）
- 現時点（10月5日時点）での検討内容
 - ・12月上旬頃（平日の営業時間内）
 - ・道の駅しょうなん「ちやのごカフェ」
 - ・指定の商品を購入した方に、数量限定で提供
 - ・売り場で啓発活動（ポスター掲示や啓発物の配布など）



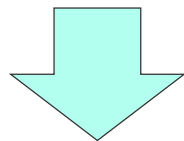
道の駅しょうなん（てんと）

詳細については、道の駅しょうなん
と現在協議中

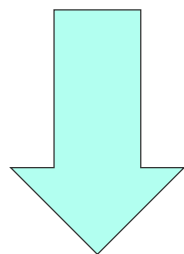
議事 これからの啓発活動の取組みについて（事業内容の具体化）

第1回部会

解決すべき課題に対する具体的な対策(手段)の検討



事務局で内容の整理・検討（3つのテーマを選定）



テーマの選定理由：「**実現可能性が高いもの**」

1. R5年度中に実施できるもの
2. R6年度の実施に向けてできるもの
3. 市単位で取り組めるもの
4. 事業化のハードルが低いもの

第2回部会

3つのテーマに対する、
これからの啓発活動の取組みについて（事業内容の具体化）の検討

3つのテーマ

- A) 専門職による出前講座について
- B) 在宅医療情報紙「わがや」の主題や内容について
- C) 啓発物の作成（わがや以外）について

【参考】グループワークの結果

別紙

A 専門職による出前講座		B 在宅医療情報紙「わがや」		C 啓発物の作成	
どこで/ 誰に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場（サロン）参加者 ・施設への入所を考えている人 ・親の退院後の生活の場所を考えている人（40代～50代） ・終活に興味がある人 ・教育機関（小中学生等、若い世代へのアプローチ） 	22号 ※R6.3.1発行	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT, 顔の見える関係会議の特集 ・施設の種類の紹介 ・柏市の高齢者数, 在宅医療の件数といった数値, 割合の提示 ・直感でわかる企画（在宅医療版ケアパスなど） ・地域包括支援センター特集（相談窓口の紹介） ・地域マップ作成, スタンプラリー 	R5年度に実施	<p>○道の駅スーパ提供における売り場での啓発活動の案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療に関するパネルの展示 ・スーパ販売時に「わがや」を配布 ・訪問薬局, 包括などのポスターの掲示 ・「わがや」バックナンバーの周知（実物を置き, 手に取ってもらう） ・「わがや」の閲覧方法を紹介 ・ACPに関する体験談の紹介 ・終活に関する情報の提供 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“本人の希望”チェックシートを作成・配布
どのように	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の違い（老人ホームの種類など）や, ケアマネジャー（専門職）の役割を知ってもらう ・子供の頃から介護や医療に興味を持ってもらう, 介護や医療が身近なものだと知ってもらう教育 ・体験型（職場体験など） ・ワールドカフェ形式（専門職のブースを設置し, 専門職と直接やりとりが出来る） 	23号以降	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定, エンディングノートの特集 ・柏の有名人との対談企画 ・社会資源にどのようなものがあるか ・バックナンバーを掘り下げブラッシュアップ（繰り返し広報することが大切） ・各専門職を個別に特集 ・各職能団体の特集 	R6年度に実施	<ul style="list-style-type: none"> ・市内学校や公共施設での啓発活動（バレット柏, アミュゼ柏など） ・職業体験イベント（医師, 理学療法士, 看護師, ケアマネジャーなど在宅医療を体験できる, 相談できる） ・ウォーキングアプリの活用（フレイルポイントと連携など） ・各種SNSの活用 ・地域包括支援センターの連絡先を掲載したマグネット等の啓発物を担当地区別に作成し, 地域ごとに配布 ・広報かしわに「わがや」の宣伝ページを掲載（年に数回）
誰が	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門職（包括職員, ケアマネジャー, 看護師, リハビリ職, 民生委員など） 	周知方法 ※わがやの認知度を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所等に来た人に直接渡す『手渡し効果』 ・有名人企画 ・漫画（幅広い世代にとって読みやすいもの） ・各種SNSの活用 ・柏のスポーツとコラボ（プロスポーツクラブや元選手の国枝氏など） ・柏ウォーキングアプリ 		<ul style="list-style-type: none"> ・子供の頃から介護や医療に興味を持つことで『柏の子供は, 小さい頃から介護や医療を特別なものではなく, 当たり前にあるものだ』という考えが身につく ・意思決定が出来る, 話し合える
目標効果	<ul style="list-style-type: none"> ・関心はあっても話し合えていない人が, 在宅医療を知ることで, 関心がある人同士が話し合える状態になる ・在宅医療, 地域資源を知る 	目標効果	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画やイラスト, 有名人とのコラボなど, わかりやすく興味を持ってもらうことで, 楽しんで読んでもらえる, 知ってもらえる ・内容は忘れられてしまうものなので, 「印象付ける」ことで, 記憶に残してもらう ・今まで興味のなかった人たちに, 柏の在宅医療を知ってもらう 	目標効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の頃から介護や医療に興味を持つことで『柏の子供は, 小さい頃から介護や医療を特別なものではなく, 当たり前にあるものだ』という考えが身につく ・意思決定が出来る, 話し合える

グループワークで出た意見をもとに、事業の実施に向け、内容を整理・検討し、第3回部会では、今後の取組み内容についての確認・検討及び指標設定を進めて参ります。

第3回部会（令和6年1月26日（金））

- ・次年度の取組みについて（確認・検討）
- ・指標設定（事業進捗／評価）

わがや22号

- ・令和6年3月1日発行予定

